

三菱養和国際交流ジュニアフットサル大会 競技規則について(ご連絡)

当大会での競技規則は基本的にフットサル競技規則 2016/2017 を適用しますが、小学生年代に相応しいルールの適用を大会側にて判断し、競技を進めていきたいと思っております。

また、2010 年にフットサル競技規則が大幅に改正されました。各チームにてフットサル競技規則をよくご確認いただき、監督、コーチ、選手等の関係者に周知徹底を図られるようお願いいたします。

[JFAホームページ フットサル競技規則] <http://www.jfa.jp/laws/>

【大会特別ルール】

1. 累積ファウル(5ファウル)は適用しません。
2. タイムアウトは適用しません。
3. 交代の手続きによる違反は警告としません。(違反を繰り返した場合や故意な違反を除く)
4. 「第3種以下の競技会におけるフットサル競技規則」は適用しません。
(オーバースロー、パントキックはOKとします。)
5. ゴールキーパーへのパスについては、サッカーのルールと同様とします。
6. 競技者の人数は、3～4年生の部→7人制、5～6年生の部→6人制です。
7. 試合時間は20分のランニングタイムです。(10分ハーフ ハーフタイム5分)
8. 選手登録は15名です。
※上記の大会特別ルール以外は、フットサル競技規則 2016/2017 を適用します。

【フットサル競技規則のポイント】

- ◇ボールがタッチラインを割った場合、スローインではなくキックインとなります。
その際、ボールは静止させて置き、軸足はタッチラインを越えてはなりません。
- ◇ボールがゴールラインを割った場合、ゴールキックではなくゴールクリアランス(スローイング)となります。
ゴールクリアランスから直接得点することはできません。
- ◇オフサイドはありません。
- ◇選手交代は出入り自由(回数制限なし)ですが、決められた場所(交代ゾーン)でおこなう。その際、ピッチに入る選手はピッチを出る選手が完全にタッチラインを越えるまでピッチには入れません。
以上のことが守られない場合は、①プレーを停止し、②違反をした競技者(早く入った選手)はピッチから離れてベンチに戻り、③ボールのあった地点から相手チームの間接フリーキックによりプレー再開となります。
(違反を繰り返した場合や故意な違反は、本来の競技規則通りに警告の対象となります。)
- ◇フリーキック・キックイン・コーナーキックで守備側選手が離れる距離は5m以上です。(キックオフは3m以上)
- ◇ハーフタイムになりましたら、チームベンチが替わります。
- ◇スパイク(取替え式・固定式共)はNGです。トレーニングシューズ又は、運動靴を使用してください。
- ◇出場選手はすね当て(シンガード)を着用してください。

【競技規則の改正(抜粋)】

- ◇キックインでボールを置く位置はピッチから出た地点、またはピッチ外でその地点から 25cm以内の場所となります。
- ◇直接フリーキックに値する反則についてはサッカーと同様になり、スライディングタックルも“不用意に、無謀に、または過剰な力を用いて”行なわない限り、認められることになりました。
- ◇試合開始時の最小人数は3人となります。
- ◇自由な交代(交代ゾーン)を用いず、負傷の治療や用具の交換等のためにピッチから離れた競技者の復帰方法については、サッカーと同様になりました。